

あいち農産物生産流通レポート

2025年1月号

	ページ
◎ 地域トピックス	
・ 常滑市の養豚農家(知多ピッグ)が農山漁村発イノベーション整備事業を活用して、直売所をオープンしました	(知多農林水産事務所) 1
◎ 東日本情報	
・ 年末年始に向けてキャベツの現地調査及び品質検討会を実施	(東京事務所) 2
◎ 西日本情報	
・ 2023年の県内卸売市場における青果物・花きの流通動向	(食育消費流通課) 4
・ あいちの農林水産フェアを開催しました	(食育消費流通課) 5
◎ フラワーページ	
・ あいち花マルシェ2024を開催しました	(園芸農産課) 7
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	11
・ 名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し	12
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の1月の見通し(県内市場)	24

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

常滑市の養豚農家（知多ピッグ）が農山漁村発イノベーション整備事業を活用して、直売所をオープンしました

知多農林水産事務所

株式会社知多ピッグ（以下「知多ピッグ」）（本社：常滑市）は、母豚約1,200頭を飼養し、年間約28,000頭の豚を出荷する養豚農家です。

農山漁村発イノベーション整備事業を活用し、常滑市久米に、「とんとことん」を2024年11月2日（土）にオープンしました。

「とんとことん」の「とん」は豚、「とこ」は常滑を意味し、常滑と一緒に発展していくという願いが込められています。



「とんとことん」外観

1 こだわりのブランド豚『知多ポーク』

知多ピッグの独自ブランドとして、丹精込めて育てられた知多ポークは、さっぱりした味わいと脂肪のやさしい甘みが特徴です。栄養価も非常に高く、抗酸化作用にすぐれたビタミンEを豊富に含むうえ、植物性飼料のみで育つので臭みがなく、やわらかな食感が魅力です。

また、養豚農家が経営する直売所の強みとして、豚の内臓を丸ごと入手できるので、曜日限定で、店頭で新鮮なホルモンが種類豊富に並びます。新鮮で臭みがなく、おいしいホルモンを家庭で楽しむことができます。



店内の様子



独自ブランド『知多ポーク』

2 加工品も充実

同敷地内に加工施設を併設し、餃子やソーセージなどを生産し、販売しています。

さらに、レジ奥のオープンキッチンでは、知多ポークたっぷりのコロッケを揚げているのを見ることができます。



豊富な加工品



レジ横で揚げ物を注文

3 今後の支援方針

当農林水産事務所では、引き続き6次産業化支援を通じて、農家所得の増大と地域活性化を推進していきます。

年末年始に向けてキャベツの現地調査及び品質検討会を実施

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

京浜市場では、本県産キャベツの入荷が年末年始に本格化します（図1）。そこで、京浜市場愛知県野菜連絡会キャベツ研究会（卸売会社12社で構成）は毎年12月、競合産地の生育や出荷の進捗状況及び入荷物の品質確認を行い、産地と市場関係者の間で情報共有を図っています。

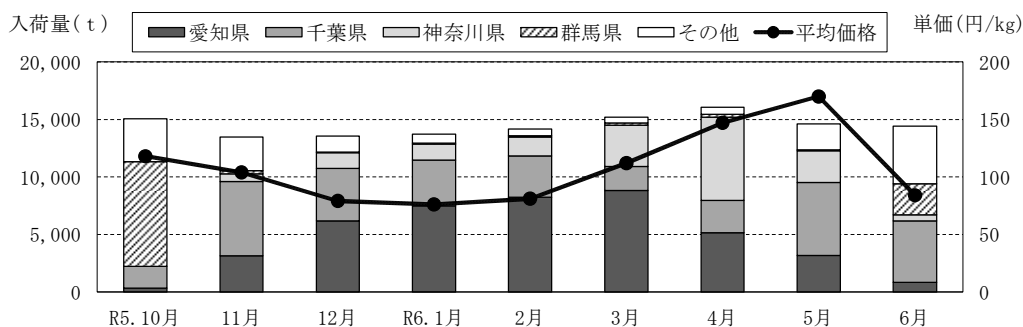


図1 キャベツの月別入荷量及び単価推移（東京都中央卸売市場）

本年度は令和6年12月10日（火）にキャベツ研究会会員会社及びJA愛知みなみ、JA豊橋、JAあいち経済連が2班に分かれ、競合産地である千葉県銚子市及び神奈川県三浦半島のキャベツほ場の生育状況を調査しました。調査後は東京新宿ベジフル株式会社（東京都新宿区北新宿4丁目）の会議室において、本県及び競合産地のキャベツの品質検討を実施するとともに、市場情勢や産地情勢等の情報交換を行いました。

1 競合産地調査

（1）千葉県（銚子）

昨年度は調査時に収穫適期のものが多くみられましたが、本年度はいずれのほ場も不揃いで小さいものが多い状況でした。生産者の話では、干ばつと寒さの影響で12月までの出荷量は多くない見込みとのことでしたが、ほ場の状況からは1月以降の出荷量も多くないのではないかと印象でした。



千葉県のキャベツほ場の様子

（2）神奈川県（三浦・横須賀）

当地区ではダイコン収穫後にキャベツを定植するほ場が多いですが、今年度のダイコンは相場が堅調に推移しているため収穫が進み、後作のキャベツの定植が順調に進んでいる状況でした。生産者の話では、12月は干ばつと寒さの影響で出荷が週2回か

ら週1回に減っており、ほ場の状況からは1月以降の出荷量は増えてくるのではないかという印象でした。



神奈川県のカブツほ場の様子

2 品質検討会

いずれの産地も、中心階級の出荷物を無作為に抽出して調査を行いました。

(1) 冬系

本県5産地、茨城県1産地の出荷物を調査しました。調査した中ではクレーム対象となるものは確認されず、玉揃い、ボリューム、外葉等の品質は総合的にみて安定していました。しかし、一部の出荷物では、小玉でボリュームが少ない、外葉が多い、という点が確認されました。

(2) 春系

本県2産地、千葉県1産地、神奈川県1産地の出荷物を調査しました。調査した中ではクレーム対象となるものは確認されず、玉揃い、ボリューム、外葉等の品質は総合的にみて安定していました。しかし、一部の出荷物では、小玉でボリュームが少ない、外葉が多い、虫害がある、という点が確認されました。



品質査定の様子



本県産の出荷物（一部）

3 情報交換

J Aからの報告では、県内産地はいずれも夏期の高温で生育が遅れ、10～11月の日照不足による生育不良も重なって小玉傾向であり、出荷量は例年より少なく、1月以降も寒さのため生育は回復しないことから、大玉の出荷は2月以降になる予想でした。また、卸売会社からの報告では、千葉県及び神奈川県の産地はいずれも10月の長雨の影響で11月の出荷量が例年より少なく、全体的に本県と同じような状況とのことでした。

2回目の競合産地調査及び品質検討会は、本県産の入荷が後半戦に入ってから競合産地が急増する3月を前に行われる予定です。

2023年の県内卸売市場における青果物・花きの流通動向

食育消費流通課

1 名古屋市中心卸売市場及び県内地方卸売市場の青果物について

(1) 2023年の野菜及び果実取扱数量

野菜については、名古屋市中心卸売市場の取扱数量は39万1千t(2018年比99.6%)で、5年前と比べ2千t減少しました(表1)。このうち、県内産野菜は6万9千tでした。一方、県内地方卸売市場の取扱数量は10万t(同89.2%)で、5年前と比べて1万2千t減少しました。このうち、県内産野菜は3万9千tでした。

果実については、名古屋市中心卸売市場の取扱数量は10万t(同101.5%)で、5年前と比べて2千t増加しました。このうち、県内産果実は9千tでした。一方、県内地方卸売市場の取扱数量は3万4千t(同80.7%)で、5年前と比べて8千t減少しました。このうち、県内産果実は1万3千tでした。

(2) 青果物の取扱数量における動向

県内地方卸売市場では、名古屋市中心卸売市場と比べ、野菜、果実ともに取扱数量の減少率が大きくなっています。その主な要因として、小規模農家の減少や、個人農家の販売チャンネルが多様化していることにより、地方卸売市場への出荷量が減少していることが挙げられます。

表1 県内の中央卸売市場および地方卸売市場における青果物の取扱数量 [単位:万t]

		2023年			2018年		
		全体	県内産	県産シェア	全体	県内産	県産シェア
名古屋市中心	野菜	39.09	6.85	17.53%	39.26	6.50	16.56%
	果実	9.99	0.92	9.19%	9.84	1.08	10.93%
県内地方	野菜	9.97	3.90	39.09%	11.17	4.47	40.04%
	果実	3.42	1.33	38.90%	4.24	1.64	38.69%

(注)表は小数点以下第3位を四捨五入しています。

2 県内地方卸売市場の花きについて

(1) 2023年の切り花及び鉢物取扱数量

切り花の取扱数量は2億2千万本(同108.3%)で、5年前と比べて1千7百万本増加しました(表2)。このうち、県内産は7千7百万本でした。

鉢物(花壇用苗物等含む)の取扱数量は5千3百万鉢(同87.5%)で、5年前と比べて8百万鉢減少しました。このうち、県内産鉢物は2千1百万鉢でした。

(2) 花きの取扱数量における動向

切り花の取扱数量は、市場全体ではやや増加傾向である一方で、県内産は減少傾向にあります。

鉢物の取扱数量は、市場全体、県内産ともに減少傾向にあります。

表2 県内の地方卸売市場における花きの取扱数量 [単位:千万本、千万鉢]

		2023年			2018年		
		全体	県内産	県産シェア	全体	県内産	県産シェア
県内地方	切り花	22.05	7.73	35.07%	20.36	8.13	39.91%
	鉢物	5.34	2.07	38.84%	6.10	2.31	37.85%

(注)表は小数点以下第3位を四捨五入しています。

あいちの農林水産フェアを開催しました

食育消費流通課

あいちの農林水産フェア実行委員会（構成：JA 愛知中央会、JA あいち経済連、愛知県）は、愛知県産の新鮮で安全・安心な農林水産物とその加工品を広く紹介・販売し、県民の皆さんに県産品を積極的に利用していただくため 2011 年から「あいちの農林水産フェア」を開催しています。

1 開催概要

地産地消を推進するため、県民の皆様にも農林水産物を身近に感じられる体験イベントと新鮮で安全・安心な県産農林水産物とその加工品の販売を実施しました。今年度は名古屋市の金山総合駅エリアにおいて、親子世帯をはじめ多くの来場者に、愛知県産農林水産物の魅力を広く発信しました。

表 あいちの農林水産フェア開催日時および来場者数

会場	開催日	来場者数
金山総合駅連絡通路橋イベント広場 金山総合駅南口広場 金山南ビル1階イベントスペース	2024年11月9日（土） 2024年11月10日（日）	2日間で10,572人

2 開催内容

(1) 農業体験（子ども農家の八百屋さん、斑点米の判別体験）

愛知県農協青年組織協議会主催で、子どもたちが名古屋・豊橋の各農家と一緒に栽培した野菜を販売しました。9日は名古屋の畑で収穫したブロッコリー、落花生を、10日は豊橋の畑で収穫したキャベツ、ミニハクサイ、ブロッコリーを各日合計100個販売し、完売しました。

子ども農家として参加した親子からは、農作業や販売の体験を通じて、農業に対する理解が深まった、貴重な体験だった、などの感想があり、参加者からも好評でした。

また、斑点米の判別体験も開催しました。2日間で約50組が参加し、米生産の実情について理解を深めました。



子ども農家の八百屋さん

(2) 田植機展示

乗用型6条植タイプの田植機を展示しました。田植機の展示という珍しさもあり、多くの方々、特に親子を中心に試乗や写真撮影を行っていました。



田植機試乗の様子

(3) シイタケ収穫体験

愛知県森林協会による原木及び菌床のシイタケの収穫体験を行いました。有料イベントでしたが、9日は67名、10日は111名と多数参加しました。

シイタケ収穫体験の他にも、生・乾燥のシイタケやシイタケ原木の販売も行いました。原木の購入者が、家庭で栽培・収穫した様子をSNSで発信するなど、販売も好評でした。



原木シイタケ収穫体験

(4) 食育体験イベント

食育消費流通課による豆つまみゲーム、愛知県漬物協会によるつけものクイズを開催し、多くの来場者に参加いただきました。

また、子どもが楽しめる体験イベントとして、各日120名にねんどdeアート、60名にあいちの野菜/花/魚/肉検定を実施しました。



ねんどdeアート

(5) 県産農林水産物等の販売・紹介

いいともあいちネットワーク会員やJAが出展し、れんこんやしいたけなどの県産農林水産物や、漬物や味噌、菓子などの県産農林水産物を使った加工品の販売・紹介を行いました。多くの方々に購入いただき、盛況でした。



金山総合駅内の物販会場



金山総合駅南口広場の体験イベント

(6) スタンプラリー、SNSキャンペーン

開催当日は、県産農林水産物等の購入者を対象にスタンプラリーを開催しました。多くの来場者がスタンプラリーに参加し、農産物等の購入を楽しみました。物販出展者からも売上につながったと大変好評でした。同時に、来場者を対象としたアンケートを実施し、9割を超える方から今後も県産農林水産物を購入したいとの回答を得ました。

開催後は県産農林水産物等の購入者を対象としたSNSキャンペーンを実施しました。フェア当日の来場者が、会場の様子や購入した県産農林水産物をInstagramに投稿し、開催後も県産農林水産物の魅力を来場者から発信いただきました。

あいち花マルシェ2024を開催しました

園芸農産課

愛知県では、日本一の花の生産を誇る「花の王国あいち」として、あいちの花の消費拡大を図るため、花を「見て・触れて・購入できる」県民参加型のイベント「あいち花マルシェ」を2020年度から開催しています。

2024年度は、本県に10月開業したスタートアップ支援拠点 STATION Ai のオープンを記念した名古屋ステージと、花の生産地に近い三河ステージの2ステージを開催しました。

1 開催概要

- (1) 名古屋ステージ (STATION Ai オープニング記念)
2024年10月31日(木)～11月3日(日) (4日間)
鶴舞公園 (名古屋市昭和区)
- (2) 三河ステージ
2024年11月30日(土)～12月1日(日) (2日間)
安城産業文化公園デンパーク (安城市)

2 名古屋ステージ

名古屋ステージは、芸術の秋に開催し、「花もアートも」をテーマに、STATION Ai のオープンを花とアートで彩りました。

(1) メインディスプレイ、フォトスポット

フォトスポット「フラワーアートギャラリー」は、STATION Ai に入居するスタートアップ企業が10名の若手アーティストを起用して制作し、花とアートのコラボ展示を行いました。



メインディスプレイ「フラワーアートキューブ」



フォトスポット「フラワーアートギャラリー」

(2) 花マルシェ

愛知県産の切花や鉢物を県内生産者や生花店等が販売しました。



花マルシェ



名花協×花き連コラボ店

(3) いけばな展示、体験教室

県産花きを使ったいけばな各流派の展示や、フラワーアレンジメントの体験教室が開催されました。体験教室は、生活に気軽に花をとりいれてもらうため、自宅でも花瓶なしでそのまま飾れるスタンディングブーケを制作いただきました。



いけばな展示



体験教室

3 三河ステージ

三河ステージは、会場のデンパークで行われるウィンターフェスティバルに合わせ、「フラワークリスマス」をテーマに開催しました。

(1) 花マルシェ

県内や地元安城市の生産者や生花店等が、県産花きを販売しました。シクラメンやポインセチア、シンビジウムなどクリスマスから年末に向けておすすめの花も販売されました。



花き連鉢物部会ブース



安城温室園芸組合ブース



花マルシェの様子

(2) あいちフラワーコンテスト

花の出来栄を競うフラワーコンテストは、きく、スプレーぎく、カーネーション、ばら・洋花、鉢花・花苗、観葉植物、洋らん、和物の8部門に272点の出品がありました。

県内生産者の逸品が一堂に並ぶ様子に、来場者が感心する様子が見られました。
(結果は以下の URL からご覧ください。(https://aichi-hanamarche.com/jusyosya/))



フラワーコンテストの受賞作品



一般公開の様子



(3) 花のディスプレイ

愛知県花き温室園芸組合連合会（花き連）きく部会、スプレーマム部会、カーネーション部会によるディスプレイが展示され、多くの方が写真に収めていました。



花き連きく部会ディスプレイ



花き連スプレーマム部会ディスプレイ



花き連カーネーション部会ディスプレイ

(4) ステージイベント

安城高校の学生参加によるフラワーファッションショー等が行われました。ファッションショーでは、県内で生産される花をモチーフとした帯結びのパフォーマンス等が行われ、華やかな和装のショーに多くの方が立ち止まっていました。



フラワーファッションショー



いけばなのデモンストレーション

(5) 花の体験教室

「あいちの花」を使ったフラワーアレンジメントや寄せ植え、カラーリングマム等のワークショップが行われ、多くの方にお楽しみいただきました。クリスマスをテーマにしたスワッグづくりなどの体験も行いました。



寄せ植え



カラーリングマム



クリスマススワッグ

4 さいごに

名古屋ステージでは、メインディスプレイ前で、多くの方が写真撮影するとともに、「フラワーアートギャラリー」を眺める様子が見られ、スタートアップとの連携により「花もアートも」楽しんでいただくことができました。

また、三河ステージは、あいちフラワーコンテストや生産者ディスプレイ等を通じ、本県の花の品質の高さを、来場者に感じていただくことができました。

あいち花マルシェには、両ステージ合わせて5万人を超える多くの方に来場いただきました。「花の王国あいち」として、今後も花のPRに努めてまいります。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下
 わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：こまつな）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
2024年実績※	2,795	135 (5%)	381	315	茨城 (55%) 岐阜 (27%) 静岡 (10%)
2025年見通し	2,800	—	380	—	
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等			
【概要】 関東産地は2024年と同程度の作付見込み。こまつなの高値傾向が続けば、ほうれんそうからこまつなへ生産者が切り替える可能性もある。愛知は減少傾向にある。 【見通し】 入荷量：前年並。(0.2%) 価 格：前年並。(△0.3%)		愛知は生産者の高齢化により入荷量が減少傾向にあるが、これからも地元産を安定供給していくため、作付面積と出荷量の維持を引き続きお願いしたい。 ※2024年12月の実績が出ていないため、2023年12月～2024年11月の数値を2024年実績として標記しています。			

○ 東京都中央卸売市場（品目：セルリー）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
2024年実績	6,823	513 (8%)	293	233	長野 (42%) 静岡 (24%) 福岡 (12%)
2025年見通し	6,700	—	285	—	
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等			
【概要】 秋冬作である静岡、福岡、本県の産地では夏期高温の影響により出荷が遅れ、出荷サイズも小さくなっている。本県産の出荷は1週間から10日程度遅れており、12月の2L比率は半分以下となっているが、回復傾向にある。 【見通し】 入荷量：前年並。(△1.8%) 価 格：前年をわずかに下回る。(△2.7%)		品質（ボリューム感、十分な着色、切口の鮮度）の維持、日量格差の少ない安定出荷、精度の高い出荷予定の情報発信、生産者間の品質格差をなるべく小さくすること、について引き続き取り組んでいきたい。 ※2024年12月は実績が出ていないため、2023年12月から2024年11月までの数値を2024年実績として記載しています。			

名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し

名古屋中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

12月12日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2020年	30,385	216	254	206	200	愛知 26%
	2021年	32,315	223	241	218	213	北海道 20%
	2022年	30,877	234	253	233	226	茨城 12%
	2023年	31,824	235	278	216	229	熊本 5%
	2024年	29,041	236	262	231	230	静岡 5%
	5カ年平均	30,888	229	—	—	—	
	2025年見通し	26,600	259	—	—	—	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
だいこん	2020年	1,721	68	91	68	61	千葉 44%
	2021年	1,633	88	102	85	85	静岡 20%
	2022年	1,790	79	87	71	85	愛知 11%
	2023年	1,633	99	115	87	104	神奈川 9%
	2024年	1,549	77	80	70	91	鹿児島 8%
	5カ年平均	1,665	82	95	76	85	
	2025年見通し	1,550	100	100	100	100	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
にんじん	2020年	1,965	97	123	105	79	愛知 91%
	2021年	2,166	118	133	130	102	千葉 3%
	2022年	2,192	94	112	96	85	鹿児島 3%
	2023年	2,020	118	138	114	113	長崎 2%
	2024年	1,805	111	126	111	105	
	5カ年平均	2,030	108	126	111	97	
	2025年見通し	1,800	120	130	120	110	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

12月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2020年	119,510	234	269	221	223	千葉 19%
	2021年	113,571	249	265	241	244	茨城 17%
	2022年	111,631	247	273	238	242	北海道 10%
	2023年	110,751	260	294	241	255	愛知 10%
	2024年	107,259	250	267	240	249	神奈川 6%
	5カ年平均	112,544	248	—	—	—	
	2025年見通し	107,000	290	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t) 単価(円/kg)				
	【産地状況】 露地野菜は年末年始の寒波、果菜類は夏期高温の影響で、いずれも入荷量は平年より少ない見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.2%) 価格：前年を大幅に上回る。(16.0%)						
だいこん	2020年	11,290	75	88	72	67	千葉 50%
	2021年	10,597	90	103	80	88	神奈川 45%
	2022年	10,328	76	88	67	77	徳島 2%
	2023年	10,281	99	111	81	105	静岡 1%
	2024年	9,564	76	76	68	87	福岡 1%
	5カ年平均	10,412	83	93	74	84	
	2025年見通し	9,600	100	105	95	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t) 単価(円/kg)				
	【産地状況】 千葉、神奈川を中心に入荷する。Lサイズ中心の入荷が見込まれるが、干ばつ傾向のため細物が多くなる。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.4%) 価格：前年を大幅に上回る。(31.6%)						
にんじん	2020年	6,378	129	143	131	119	千葉 85%
	2021年	6,788	141	142	143	138	埼玉 7%
	2022年	6,544	100	114	105	89	茨城 3%
	2023年	6,604	115	127	111	113	鹿児島 1%
	2024年	5,993	118	129	117	114	中国 1%
	5カ年平均	6,461	121	131	122	115	
	2025年見通し	5,300	150	145	150	155	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t) 単価(円/kg)				
	【産地状況】 千葉を中心に入荷する。気温が低く干ばつ傾向のため肥大が鈍く、入荷量は前年よりも少ない見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△11.6%) 価格：前年を大幅に上回る。(27.1%)						

名古屋市中央卸売市場

12月12日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	2020年	2,859	64	84	60	55	茨城 69%
	2021年	3,383	52	55	53	51	愛知 13%
	2022年	3,287	51	51	53	49	兵庫 10%
	2023年	3,153	67	66	56	78	三重 5%
	2024年	3,043	66	66	66	68	宮崎 1%
	5カ年平均	3,145	60	64	57	60	
2025年見通し	2,830	75	75	75	75	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 これまで前倒し出荷の傾向であるため、今後の入荷も多くない見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△7.0%) 価格：前年をかなり上回る。(13.6%)							
キャベツ	2020年	3,241	60	72	57	58	愛知 86%
	2021年	3,834	85	86	87	85	茨城 4%
	2022年	3,641	74	67	75	79	滋賀 4%
	2023年	4,034	89	99	88	87	三重 3%
	2024年	3,425	78	78	76	81	静岡 2%
	5カ年平均	3,635	78	81	77	79	
2025年見通し	3,100	150	150	150	150	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 12月に小玉出荷をしたことで、1月は出荷減の見込み。業務需要は強く高値推移となる。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△9.5%) 価格：前年を大幅に上回る。(92.3%)							
ほうれんそう	2020年	310	523	618	526	486	愛知 38%
	2021年	256	649	732	680	596	茨城 34%
	2022年	239	600	545	607	621	群馬 8%
	2023年	255	630	802	576	596	福岡 7%
	2024年	251	502	501	488	518	岐阜 7%
	5カ年平均	262	578	640	573	560	
2025年見通し	240	650	700	650	600	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 愛知は作付面積減や寒さによる生育停滞で出荷減の見込み。関東のハウス物は平年並の見通し。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.4%) 価格：前年を大幅に上回る。(29.5%)							

東京都中央卸売市場

12月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろく	2020年	13,992	60	72	57	53	茨城 86%
	2021年	15,004	37	37	37	36	群馬 8%
	2022年	13,901	39	39	41	37	兵庫 2%
	2023年	13,089	53	47	45	65	埼玉 2%
	2024年	12,166	56	54	56	57	和歌山 1%
	5ヵ年平均 2025年見通し	13,630 11,500	49 68	50 75	47 65	49 65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	【産地状況】 茨城を中心に入荷する。12月の単価が高かったため前倒しで収穫されており、入荷量は少ない見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△5.5%) 価格：前年を大幅に上回る。(21.4%)						月
キャベツ	2020年	15,382	68	83	65	61	愛知 54%
	2021年	12,887	99	103	98	98	千葉 29%
	2022年	15,006	79	74	77	84	神奈川 10%
	2023年	13,560	98	111	97	92	茨城 4%
	2024年	13,736	76	75	74	80	群馬 1%
	5ヵ年平均 2025年見通し	14,114 12,500	83 125	89 145	81 120	82 110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ほうろく	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	【産地状況】 愛知を中心に入荷する。低温と干ばつの影響により小玉傾向のため、入荷量は前半は少ないが、後半には回復してくる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△9.0%) 価格：前年を大幅に上回る。(64.5%)						月
ほうろく	2020年	1,564	527	689	485	476	茨城 39%
	2021年	1,409	610	708	588	563	群馬 37%
	2022年	1,282	595	617	600	577	埼玉 7%
	2023年	1,555	567	699	516	525	千葉 7%
	2024年	1,568	465	489	451	464	栃木 6%
	5ヵ年平均 2025年見通し	1,476 1,500	550 600	640 600	524 700	518 500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ほうろく	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	【産地状況】 茨城、群馬を中心に入荷する。本年は前年のような暖冬ではなく、平年並の寒さのため、入荷量も平年並となる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.3%) 価格：前年を大幅に上回る。(29.0%)						月

名古屋市中央卸売市場

12月12日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2020年	1,044	348	434	360	295	大分 27%
	2021年	854	490	582	518	410	静岡 17%
	2022年	990	368	461	353	335	群馬 10%
	2023年	1,028	385	473	349	369	長野 8%
	2024年	876	401	431	392	388	茨城 7%
	5カ年平均	958	395	474	390	357	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	900	400	450	400	350	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 これまで生育が遅れていた分、各産地ともに1月の上中旬から順調な出荷予想。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(2.7%) 価格：前年並。(△0.2%)						
しそ	2020年	1,636	220	232	211	225	兵庫 31%
	2021年	1,369	247	243	229	262	愛知 16%
	2022年	1,385	272	279	255	289	熊本 15%
	2023年	1,652	262	313	253	238	静岡 15%
	2024年	1,375	254	286	246	237	長崎 9%
	5カ年平均	1,483	250	271	238	249	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	1,400	350	350	350	350	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 生育が悪く、小玉傾向の出荷見込み。玉売りでの売価が高い場合は、カット需要による相場高も予想される。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.8%) 価格：前年を大幅に上回る。(37.8%)						
きゅうり	2020年	1,184	522	529	444	592	愛知 56%
	2021年	1,235	360	344	353	381	宮崎 20%
	2022年	1,157	361	324	328	423	鹿児島 12%
	2023年	1,087	462	434	393	565	高知 11%
	2024年	1,042	437	401	428	488	
	5カ年平均	1,141	427	406	388	488	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	1,040	450	450	450	450	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 これまで平年より数量少なく、1月も継続する。中下旬は節分需要で単価高の見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.2%) 価格：前年をわずかに上回る。(3.0%)						

東京都中央卸売市場

12月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2020年	5, 831	304	368	242	215	千葉 28%
	2021年	4, 935	462	538	442	425	茨城 24%
	2022年	5, 447	303	410	287	258	埼玉 19%
	2023年	5, 844	312	397	276	288	栃木 9%
	2024年	4, 999	369	456	342	340	群馬 9%
	5ヵ年平均 2025年見通し	5, 411 5, 000	346 360	430 380	313 330	301 370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 千葉、茨城等を中心に入荷する。生育、出荷量ともに回復傾向となるが、低温のため細物傾向でL・Mサイズが中心となる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.0%) 価格：前年をわずかに下回る。(△2.4%)</p>					
し	2020年	7, 409	209	218	199	210	静岡 36%
	2021年	5, 996	233	229	216	250	香川 16%
	2022年	5, 984	274	284	254	289	長崎 13%
	2023年	6, 501	264	319	248	234	茨城 7%
	2024年	6, 229	236	269	228	218	兵庫 7%
	5ヵ年平均 2025年見通し	6, 424 6, 000	242 280	263 270	228 280	239 290	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 静岡、香川等を中心に入荷する。各産地とも生育は順調であるが、低温と干ばつの影響で小玉傾向となっている。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.7%) 価格：前年を大幅に上回る。(18.6%)</p>					
きゅう	2020年	4, 062	607	647	504	674	宮崎 48%
	2021年	4, 711	389	364	394	406	千葉 16%
	2022年	4, 611	374	331	345	436	高知 15%
	2023年	4, 154	509	492	420	623	群馬 7%
	2024年	4, 159	476	457	463	511	茨城 6%
	5ヵ年平均 2025年見通し	4, 339 4, 200	466 500	452 480	422 500	524 520	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 宮崎、千葉等を中心に入荷する。各産地とも生育は順調で、安定した入荷を見込む。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.0%) 価格：前年をやや上回る。(5.0%)</p>					

名古屋市中央卸売市場

12月12日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	2020年	415	407	388	390	451	熊本 63%
	2021年	367	396	356	385	442	愛知 35%
	2022年	399	369	343	359	402	高知 2%
	2023年	362	397	339	359	537	
	2024年	365	399	339	410	456	
	5カ年平均	382	394	354	381	456	
	2025年見通し	350	400	400	400	400	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			前年及び本年の 入荷量・価格の動き			
	【産地状況】 生育不良で数量は平年より少ない見込みだが、年末年始の出荷休み分がまとめて出荷され、上旬はまとまった数量となる。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.1%) 価格：前年並。(0.3%)						
ト	2020年	1,065	285	252	283	320	熊本 47%
	2021年	1,267	242	261	254	220	愛知 23%
	2022年	996	278	289	268	287	岐阜 16%
	2023年	1,044	300	293	299	312	三重 11%
	2024年	991	262	214	268	317	大分 2%
	5カ年平均	1,073	272	262	274	288	
	2025年見通し	950	350	350	350	350	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			前年及び本年の 入荷量・価格の動き			
	【産地状況】 熊本の面積減少や定植時からの生育不良で小玉傾向のため、入荷量は少ない見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.1%) 価格：前年を大幅に上回る。(33.6%)						
ミ	2020年	463	573	464	581	694	熊本 72%
	2021年	539	513	449	551	548	愛知 23%
	2022年	589	546	532	539	567	和歌山 3%
	2023年	570	537	448	502	700	宮崎 2%
	2024年	614	450	412	436	501	
	5カ年平均	555	521	461	518	597	
	2025年見通し	580	500	450	500	550	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			前年及び本年の 入荷量・価格の動き			
	【産地状況】 熊本は年末年始の出荷休み分があり、中旬まで安定した入荷となるが、それ以降は成り疲れにより微減となる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△5.5%) 価格：前年をかなり上回る。(11.1%)						

東京都中央卸売市場

12月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	2020年	2, 0 3 2	4 6 3	413	447	539	高知 67%
	2021年	1, 9 6 6	4 5 9	409	470	499	福岡 17%
	2022年	2, 1 5 9	4 0 4	354	404	442	熊本 9%
	2023年	1, 9 2 5	4 5 3	366	415	599	佐賀 2%
	2024年	1, 8 5 0	4 5 1	404	462	486	栃木 2%
	5ヵ年平均 2025年見通し	1, 9 8 6 1, 7 0 0	4 4 5 5 0 0	389 480	439 510	512 510	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)	単価(円/Kg)			
	<p>【産地状況】 高知を中心に入荷する。高知産は着果数が増えており、入荷量は好天が続けば中下旬に多くなるが、前年より少ない見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△8.1%) 価格：前年をかなり上回る。(10.9%)</p>						
ト	2020年	5, 2 4 3	3 3 6	312	327	373	熊本 40%
	2021年	5, 9 3 7	2 9 9	314	310	277	栃木 20%
	2022年	5, 2 1 5	3 3 9	356	327	340	愛知 16%
	2023年	5, 0 6 4	3 5 1	352	338	366	静岡 5%
	2024年	4, 8 9 1	3 0 8	263	307	360	千葉 3%
	5ヵ年平均 2025年見通し	5, 2 7 0 4, 4 0 0	3 2 6 3 6 0	320 330	322 370	341 380	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)	単価(円/Kg)			
	<p>【産地状況】 熊本、栃木等を中心に入荷する。熊本産と愛知産はいずれも夏期高温の影響が残り小玉傾向。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△10.0%) 価格：前年を大幅に上回る。(16.9%)</p>						
ミ	2020年	1, 7 7 6	5 7 1	473	566	681	熊本 44%
	2021年	1, 9 7 9	5 0 5	466	529	521	愛知 17%
	2022年	1, 9 7 6	5 6 0	560	530	595	千葉 11%
	2023年	1, 8 7 3	5 6 6	503	539	671	宮崎 11%
	2024年	2, 0 7 1	4 4 9	419	437	501	静岡 8%
	5ヵ年平均 2025年見通し	1, 9 3 5 1, 8 5 0	5 2 8 5 5 0	484 650	518 500	590 500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)	単価(円/Kg)			
	<p>【産地状況】 熊本、愛知等を中心に入荷する。夏期高温の影響が残り、入荷量は少なく推移する見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△10.7%) 価格：前年を大幅に上回る。(22.5%)</p>						

名古屋市中央卸売市場

12月12日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2020年	361	637	567	607	794	鹿児島 68%
	2021年	411	553	442	584	643	宮崎 17%
	2022年	395	484	398	475	601	高知 14%
	2023年	408	659	653	649	728	
	2024年	322	598	470	634	689	
	5カ年平均	379	585	507	588	689	
	2025年見通し	310	620	600	620	640	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 厳冬期に入ってくるため、中下旬から入荷量は減少傾向となり、単価高になる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.7%) 価格：前年をやや上回る。(3.7%)						
ばれいしょ	2020年	2,864	81	88	84	74	北海道 54%
	2021年	2,605	205	158	207	227	長崎 29%
	2022年	2,388	247	230	254	248	鹿児島 17%
	2023年	2,658	134	125	130	139	愛知 1%
	2024年	2,484	138	136	137	138	
	5カ年平均	2,600	158	145	159	162	
	2025年見通し	2,400	200	200	200	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 北海道の在庫が少なく、引き合いは強くなる見込み。長崎は小玉傾向、鹿児島はピークが遅れるため、高値傾向。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.4%) 価格：前年を大幅に上回る。(44.9%)						
たまねぎ	2020年	4,469	82	80	84	83	北海道 86%
	2021年	5,817	85	82	88	86	静岡 11%
	2022年	4,845	165	172	193	149	中国 1%
	2023年	5,209	114	115	105	122	兵庫 1%
	2024年	4,689	172	197	204	173	愛知 1%
	5カ年平均	5,006	122	127	133	121	
	2025年見通し	4,800	150	150	150	150	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 北海道は小玉傾向で前年より少ない。静岡は生育遅れでまとまった出荷は2月下旬以降となり、高値で推移する見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(2.4%) 価格：高値だった前年をかなり下回る。(△12.8%)						

東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2020年	1,348	703	617	655	835	宮崎 53%
	2021年	1,603	604	493	610	686	鹿児島 17%
	2022年	1,656	540	415	513	657	高知 16%
	2023年	1,479	744	731	700	801	茨城 12%
	2024年	1,509	614	471	641	689	沖縄 1%
	5ヵ年平均	1,519	637	540	621	729	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	1,450	650	630	650	670	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 宮崎を中心に入荷する。各産地とも小玉傾向で、入荷量は平年より少ない。宮崎産は中旬に一時的な数量減を見込む。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.9%) 価格：前年をやや上回る。(5.9%)</p>					
ばれいしょ	2020年	8,307	87	89	87	85	北海道 66%
	2021年	6,932	199	166	199	217	長崎 19%
	2022年	6,305	241	233	242	243	鹿児島 16%
	2023年	6,909	134	131	134	137	
	2024年	7,091	132	128	131	134	
	5ヵ年平均	7,109	154	146	154	159	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	5,800	190	170	230	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 北海道を中心に入荷する。北海道産は収穫終了。各産地とも小玉傾向であり、入荷量は少ない見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に下回る。(△18.2%) 価格：前年を大幅に上回る。(43.9%)</p>					
たまねぎ	2020年	8,126	95	93	96	94	北海道 75%
	2021年	9,474	94	91	96	94	静岡 20%
	2022年	7,977	190	191	187	193	中国 4%
	2023年	8,722	127	120	121	136	
	2024年	7,866	201	204	203	198	
	5ヵ年平均	8,433	139	137	138	141	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	7,500	160	160	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 北海道を中心に入荷する。北海道産は猛暑のため小玉傾向であり、入荷量は少ない見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.7%) 価格：前年を大幅に下回る。(△20.4%)</p>					

名古屋市中央卸売市場

12月12日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2020年	7,344	416	462	339	382	静岡県 26%
	2021年	8,204	382	426	366	374	フィリピン 19%
	2022年	7,616	424	491	408	412	青森 11%
	2023年	8,650	428	500	412	402	愛知 11%
	2024年	7,148	484	527	462	472	熊本 6%
5ヵ年平均	7,792	426	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2025年見通し	6,800	500	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 いちご、みかん、りんごなどが主な品目となる。りんごは、青森が上旬に輸出対応、中旬以降に国内出荷となるため、中旬以降入荷量は増加する。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.9%) 価格：前年をやや上回る。(3.3%)</p>						
み	2020年	2,345	289	324	301	272	静岡県 73%
	2021年	2,954	241	258	230	241	愛知 12%
	2022年	2,974	277	285	277	276	和歌山 7%
	2023年	2,781	314	303	310	330	三重 3%
	2024年	2,528	341	336	340	348	徳島 2%
5ヵ年平均	2,716	291	299	289	292	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2025年見通し	2,200	350	350	350	350		
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 主力の静岡は、猛暑による品質低下や害虫被害により入荷量は前年を下回る。高値のため、販売ペースは鈍くなる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△13.0%) 価格：前年をわずかに上回る。(2.6%)</p>						
い	2020年	508	1,737	1,918	1,670	1,644	愛知 54%
	2021年	687	1,469	1,570	1,431	1,411	熊本 29%
	2022年	459	1,987	2,176	1,912	1,891	鹿児島 7%
	2023年	647	1,655	1,872	1,525	1,536	佐賀 3%
	2024年	645	1,700	1,808	1,641	1,635	福岡 2%
5ヵ年平均	589	1,687	1,843	1,614	1,602	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2025年見通し	650	1,750	1,800	1,650	1,650		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 生育が遅れていた分、1月の入荷量は前年を上回る見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.8%) 価格：前年をわずかに上回る。(2.9%)</p>						

東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2020年	33,257	457	545	430	435	静岡 22%
	2021年	35,662	448	516	423	432	愛媛 16%
	2022年	32,811	507	611	486	481	青森 14%
	2023年	32,548	535	653	504	504	和歌山 7%
	2024年	30,292	573	698	536	551	熊本 7%
	5ヵ年平均	32,914	486	—	—	—	
2024年見通し	28,500	585	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 みかんを中心にいちご等が入荷する。夏期高温の影響でかんきつ、りんご「ふじ」など入荷量は減少する見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△5.9%) 価格：前年をわずかに上回る。(2.1%)</p>						
み	2020年	13,991	276	279	277	274	静岡 48%
	2021年	14,575	252	248	249	258	愛媛 14%
	2022年	13,765	279	276	276	285	和歌山 11%
	2023年	12,213	320	301	317	334	長崎 10%
	2024年	12,571	335	326	332	345	熊本 7%
	5ヵ年平均	13,423	290	284	288	297	
2024年見通し	11,800	345	335	345	355	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 静岡の「青島」を中心に入荷し、2L中心となる。主要産地は不作傾向で入荷量は少なくなる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△6.1%) 価格：前年をわずかに上回る。(3.0%)</p>						
いちご	2020年	3,000	1,799	1,975	1,739	1,692	栃木 49%
	2021年	4,390	1,474	1,531	1,431	1,460	茨城 12%
	2022年	3,551	1,833	2,033	1,791	1,727	福岡 12%
	2023年	4,153	1,682	1,924	1,598	1,554	静岡 9%
	2024年	3,913	1,687	1,883	1,712	1,628	佐賀 6%
	5ヵ年平均	3,801	1,682	1,853	1,641	1,602	
2024年見通し	3,900	1,747	1,890	1,720	1,630	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 栃木を中心に入荷する。夏期の高温で生育が遅れたものの、入荷量は前年並となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.3%) 価格：前年をやや上回る。(3.6%)</p>						

切花・鉢花の1月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 1月6日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2020年	1,485	53	
		2021年	1,222	33	
		2022年	1,111	55	
		2023年	1,324	53	
		2024年	1,042	53	
	5カ年平均	1,237	49		
2025年見通し	1,000	55			
概要	愛知中心に入荷。上旬は入荷少なめ、中旬以降少しずつ増えてくる。業務中心に動きは良い見込み。				
小 ぎ	実績	2020年	813	30	
		2021年	542	32	
		2022年	641	27	
		2023年	528	42	
		2024年	509	31	
	5カ年平均	607	32		
2025年見通し	500	35			
概要	沖縄中心に入荷。月を通して入荷が少ない見込み。安定した価格での販売が見込まれる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	2020年	874	41	
		2021年	735	35	
		2022年	764	50	
		2023年	788	59	
		2024年	841	40	
	5カ年平均	800	45		
2025年見通し	800	45			
概要	愛知中心に入荷。丈が例年に比べるとやや短め。輸入商材は円高の影響で例年よりも若干少なめになる見込み。				
か す み	実績	2020年	148	82	
		2021年	118	76	
		2022年	123	106	
		2023年	140	94	
		2024年	150	78	
	5カ年平均	136	87		
2025年見通し	140	90			
概要	和歌山、高知、熊本から入荷。前進出荷となっており、12月は数量が少なかったが、年明けからは徐々に回復していく見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	2020年	1 2 2	2 8 2	
		2021年	1 6 9	1 7 9	
		2022年	1 7 8	2 2 1	
		2023年	1 8 0	2 3 6	
		2024年	1 6 9	1 9 9	
	5カ年平均		1 6 4	2 2 0	
	2025年見通し		1 5 0	2 2 0	
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、愛知から、鉄砲は高知、鹿児島から、LAは埼玉、高知から入荷する。オリエンタル、鉄砲は生産の減少から年明けは落ち着いた入荷となる見込み。</p>				
洋らん	実績	2020年	4 6 9	8 1	
		2021年	2 7 4	7 8	
		2022年	2 6 3	1 1 0	
		2023年	2 4 3	1 3 8	
		2024年	2 5 7	1 0 4	
	5カ年平均		3 0 1	9 9	
	2025年見通し		2 6 0	1 0 0	
概要	<p>高知、徳島、愛知、静岡等の国産に加え、輸入品が入荷。コショウランは例年並、カトリアは出荷が遅れた分が徐々に増え、後半は入荷増の見通し。デンファレも例年並、オンジウムは徐々に増えてくる。シンピジウムは国産中心に入荷。</p>				
ばら	実績	2020年	5 2 0	8 3	
		2021年	4 1 0	7 8	
		2022年	4 6 2	9 9	
		2023年	5 2 0	1 0 0	
		2024年	5 2 2	9 9	
	5カ年平均		4 8 7	9 2	
	2025年見通し		5 0 0	1 0 0	
概要	<p>愛知、岐阜、三重中心に入荷。昨年と比べると入荷量はやや減少する見込み。成人式需要は染め物がブームの傾向。</p>				
枝も	実績	2020年	1, 1 7 0	5 1	
		2021年	8 1 2	5 1	
		2022年	1, 1 1 0	5 4	
		2023年	9 2 1	6 6	
		2024年	9 0 7	5 6	
	5カ年平均		9 8 4	5 6	
	2025年見通し		9 1 0	5 6	
概要	<p>年明けから輸出が始まるボケ、雪柳、こでまり、桜などは動きがでてくる。春節が終わるまでは促成物の出回りは少なく、上旬の成人の日なども少ない状況。ガマズミ、アカシアなど輸出されない物は順調な出荷となる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 績	実 績	2020年	9, 5 5 3	2 0 8	
		2021年	9, 4 8 8	1 7 6	
		2022年	7, 6 7 2	2 4 8	
		2023年	5, 8 6 2	2 8 3	
		2024年	5, 9 8 0	3 0 0	
	5ヵ年平均	7, 7 1 1	2 3 3		
リ	2025年見通し		5, 5 0 0	2 8 0	
力 概 要	<p>入荷量は前年よりかなり減少か。2024年から秋の高温による影響で痛みが多く発生していることや、生産者の高齢化により生産量がかなり減っている。品種としてはスズランエリカ、アワユキエリカ、プリティレッド、サイズとしては3.5号～4号の小鉢が中心となる。2024年止市から2025年初市までが長いので、前半は好市況が期待できる。一方、後半に向けては厳しい寒さが見込まれるため、需要が減退し、相場は軟調の見込み。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位山梨(46.6%)、2位愛知(28.9%)、3位新潟(23.9%)となっている。</p>				
プ 績	実 績	2020年	4 3 7, 7 0 5	8 8	
		2021年	2 9 0, 7 5 3	1 0 4	
		2022年	3 5 7, 6 7 6	9 6	
		2023年	3 1 2, 3 7 6	9 9	
		2024年	2 7 3, 4 6 0	1 0 4	
	5ヵ年平均	3 3 4, 3 9 4	9 7		
ム	2025年見通し		2 7 0, 0 0 0	1 0 4	
ラ 概 要	<p>入荷量は前年並か。前年同様、夏の暑さにより生育不順、生育遅れがある。特にジュリアンが少ない見込み。人件費、資材の値上がりにより単価も前年より高い高い予想。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(34.6%)、2位埼玉(16.1%)、3位奈良(10.8%)となっている。</p>				
チ ュ ー ー 績	実 績	2020年	3 4, 8 4 5	2 0 9	
		2021年	3 6, 8 0 0	2 0 8	
		2022年	3 9, 6 9 2	2 3 3	
		2023年	3 9, 2 4 2	1 9 6	
		2024年	3 0, 4 2 0	2 1 5	
	5ヵ年平均	3 6, 2 0 0	2 1 2		
リ ッ	2025年見通し		3 0, 0 0 0	2 1 0	
プ 概 要	<p>入荷量は前年並か。海外からの球根の仕入れ単価上昇のため、高値傾向が見込まれる。1月の出荷は芽出し中心になり4号、3号が出荷の中心と見込まれる。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(36.8%)、2位茨城(16.1%)、3位富山(15.6%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	2020年	38,470	280	
		2021年	34,967	286	
		2022年	38,213	290	
		2023年	27,909	296	
		2024年	19,659	340	
	5カ年平均	31,844	294		
	2025年見通し	19,000	337		
概要	<p>入荷量は前年よりやや減少か。夏の暑さの影響で各産地で苗が傷み、年末から1月にかけての出荷分が減少する見込み。例年通り6号は埼玉、5号は埼玉、愛知、三重、東北、4号は愛知、三重を中心に入荷する。価格は入荷量の減少に伴い堅調な見込み。サイズとしては4～5号の引き合いが強く、6号は厳しい見込み。年々、成人式需要も減少傾向にある。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（30.6%）、2位茨城（13.4%）、3位福島（12.6%）となっている。</p>				
マーガレット	実績	2020年	37,423	198	
		2021年	30,759	217	
		2022年	39,139	240	
		2023年	33,688	257	
		2024年	27,994	261	
	5カ年平均	33,801	233		
	2025年見通し	28,500	280		
概要	<p>入荷量は前年並か。年内出荷予定分の開花遅れで1月出荷は前年より増加の見込み。3.5号、4号、5号中心で前半は他の鉢花類が少ないため、引き合いが強くなる見込み。一方、後半は厳しい取引が予想される。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜（18.7%）、2位静岡（16.5%）、3位埼玉（15.3%）となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	2020年	14,713	665	
		2021年	13,085	617	
		2022年	11,882	709	
		2023年	8,881	687	
		2024年	7,581	649	
	5カ年平均	11,228	665		
	2025年見通し	7,600	700		
概要	<p>入荷量は前年並か。年内出荷予定分の遅れと年明け予定分の開花が早く、前半は入荷が多くなる見込み。売価帯の低い小鉢系の引き合いが強くなる見込み。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（52.7%）、2位岡山（24.3%）、3位三重（8.4%）となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.619
2025年1月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434